

■ 必要諸室の考え方（案）

資料3

区分	室名		室数等		規模・基本的仕様 案	
			相良	榛原		
普通教室	普通教室		30	39	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいJIS規格の机(700mm×500mm)に対応する広さを確保(横に広い仕様) ・可動間仕切りの開閉により廊下兼オープンスペースとの繋がり方を調整できるセミオープン型 ・1～2年生は外に出やすい配置が望ましい ・十分な収納スペースを確保する 	
	オープンスペース		適宜		<ul style="list-style-type: none"> ・学年活動ができる広さ ・水道、トイレを設置 ・教員コーナー(1・2年,3・4年,5-7年,8・9年生に1つ)の設置を検討 ・収納はつくらない 	
	特別支援教室 ※		10	6	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室の半分の広さを基本とする(撤去等が可能な間仕切りで仕切るなど汎用性を高める) ・クローズ(教室完結)型 ・低学年は特に、昇降口やトイレが近い配置が望ましい 	
特別教室	理科室	前期課程用	3	4	【室数検討中】	
		後期課程用				
		準備室	1	2		
	音楽室	前期課程用	2			
		後期課程用	1			
		準備室	1			
	芸術教室	図工室(前期課程)	1			
		美術室(後期課程)	1			
		準備室	1			
	技術室(後期課程)	木工	1			
		電気	1			
		準備室	1			
	家庭教室	調理室	1			
		被服室	1			
		準備室	1			
	外国語	3-4年生用	1			【設置検討中】
		5-7年生用	1			・専用・兼用を検討
教科室	国語科室	1		【設置検討中】 ・教材が置いて、教科教員が簡単なミーティングができる広さ		
	数学科室	1				
	社会科室	1				
プレゼンスペース		適宜		【設置検討中】 段差がある場所をプレゼンスペースとして整備(音楽室や階段などの兼用も可)		

区分	室名		室数等		規模・基本的仕様 案
			相良	榛原	
多目的 ・ 地域交流	学校図書館 ※		1		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの動線上となる学校の中心に設置 ・明るく開放感があり、異学年の交流の場となる ・地域開放を検討 ・閉架書庫・司書室を設ける
	多目的ルーム		1		<ul style="list-style-type: none"> ・2学年が使用できる広さ ・地域開放を想定
	地域活動室 (CSルーム)		1		<ul style="list-style-type: none"> ・外から直接出入りしやすい配置・仕様（専用の昇降口） ・作業・打合せスペース、給湯室設置
管理諸室	校長室		1		
	職員室 ※		1		<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドが見える配置とする ・つながりやすいWi-fi環境・十分な電源を確保 ・収納スペース（教材棚、個人の荷物を入れる場所）、給湯室を設ける
	事務室 ※		1		
	保健室 ※	前期課程用	1		<ul style="list-style-type: none"> ・2室は中で行き来できる仕様とする ・健診室の設置（1年中健康診断が行えるよう配慮）検討、設置の場合は研修室等を兼ねる ・吐しゃ物処理等のためのシャワー、洗濯スペースの確保
		後期課程用	1		
	相談室兼小会議室		10室程度		<ul style="list-style-type: none"> ・6名程度で会議できる広さ ・多様な使い方ができる仕様（不登校の子どもの居場所・教員の打ち合わせ・保護者相談等）
	中会議室		3		<ul style="list-style-type: none"> ・12名程度が会議できる広さ（相談室2室分程度） ・学年部会、教科部会を行う
	職員更衣室		男女		<ul style="list-style-type: none"> ・職員昇降口の近くに配置 ・職員用シャワー整備
	放送室		1		【検討中】
生徒会室（児童会室）		1		【検討中】	
屋内運動 施設	体育館 ※	大体育館 (主に後期課程)	1		<ul style="list-style-type: none"> ・榛原中学校の体育館（1,409㎡）くらいの広さ ・ステージ、放送設備、器具庫、その他（垂れ幕・縦看板・横看板等）の収納スペース
		小体育館 (主に前期課程)	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ミニバスケットコート1面分の広さ ・（クッションフロア） ・収納スペースを大体育館と共有できる配置・仕様とする
		武道場	1		<ul style="list-style-type: none"> ・壁面を鏡とし、ダンスの授業も実施できる仕様とする
屋外施設 (屋内)	プール		1		大・小一つずつ
	グラウンド		1		前期課程・後期課程が使用するグラウンドを分ける
	児童クラブ室		1		学校の施設内に設置
外構	バスロータリー		1		
	駐車場	教職員用	76	90	
		来客用	105	105	
		スクールバス用	12	15	

※ ヒアリング実施中

2.1 普通教室・オープンスペース

(1) 共通事項

- ・ クラス単位の活動と学年単位の活動など教育活動に応じたスペースが選択できるようにする
- ・ 可動間仕切りは、視界を遮るタイプにするなど、閉じているときはクローズに近い形にできるようにする
- ・ 教室内に収納スペースを確保し、教室内の移動をスムーズにすることにより、より柔軟で活動がしやすい環境とする（ICT機器、配膳台、ランドセル、体操着等も収納できる）
- ・ 1～2年生教室は昇降口やテラスに接続しているなど、屋外に出やすい配置や構造とする

(2) オープンスペース

- ・ 授業のワークスペースの拡張や学年単位での活動を行うことができる広さとする
- ・ 教員がミーティングや作業ができ、子どもの新教材が仮置きできる広さの教員コーナーを設けることを検討する

2.2 特別支援教室

- ・ 教職員の目が行き届き指導しやすい環境とする
- ・ 室内の活動が多いことから、収納と教室内の機能を充実させるとともに、屋外に出やすい配置とする
- ・ 普通級の児童生徒との活動がしやすいよう学年の並びに配置するが、階段を挟むなど、通常級との距離を確保する
- ・ 肢体不自由、視覚障害等に対応する改修も想定し整備する
- ・ 水道を教室内に設置する等、できるだけ教室内で動きが完結するように配慮する

2.3 特別教室

- ・ 専門的な機器や教材をはじめ、その教科に特化した部屋が必要なものについて特別教室を設ける
- ・ 多様な教育活動が可能となるプレゼンスペースなどの共用スペースを設ける

※ 必要な教室はリスト参照

(1) 学校図書館

- ・ 児童生徒が利用しやすい動線上となるよう、学校の中央に設ける（分散しない）
- ・ 異学年の交流の場となるよう開放感あり明るい空間とする

2.4 管理系諸室（現在ヒアリング中）

（1）職員室

- ・教職員が打ち合わせや作業がしやすく、変化に対応できる
- ・全教職員が同じ空間にいられるスペースを確保する

（2）保健室

- ・救急搬送や早退者の受け渡ししがしやう、車両がアクセスしやすい配置とする
- ・グラウンドに接続させる

（3）相談室兼小会議室

- ・進路相談や保護者相談のほか、不登校の子どもの使用を想定する
- ・外から来やすく、姿を見られることなく出入りできる場所とし、かつ職員室や保健室からも近い場所とする

2.5 屋内運動施設（体育館・武道場）

- ・校舎と一体または接続し、雨でも濡れずに移動できる仕様とする
- ・地域開放を想定する

2.6 複合化・多機能化について（資料4へ）

（1）複合化1－放課後児童クラブ

（2）多機能化1－学校図書館の地域開放

（3）多機能化2－運動施設の地域開放

（4）多機能化3－特別教室の地域開放

（5）多機能化4－防災機能の充実

（6）高機能化－省エネ性能の水準に適合する建築物、ユニバーサルデザイン（バリアフリー）、全館空調、全館Wi-Fi